

平成30年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月14日

上場会社名 WBFリゾート沖縄株式会社

上場取引所 東

コード番号 6179

URL <http://www.wbfresort-okinawa.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 兼城 賢成

問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当取締役 (氏名) 近藤 雅之 (TEL) 098(840)1775

中間発行者情報提出予定日 平成29年12月27日 配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月中間期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期中間期	1,731	34.7	231	97.6	192	135.0	126	134.1
29年3月期中間期	1,285	7.2	117	31.8	81	72.5	53	73.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期中間期	3,160 34	—
29年3月期中間期	1,349 84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期中間期	5,823	236	4.1
29年3月期	4,598	109	2.4

(参考) 自己資本 30年3月期中間期 236百万円 29年3月期 109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	中間		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	0	00	0	00	0	00
30年3月期	0	00				
30年3月期(予想)			0	00	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,620	44.0	210	43.9	138	73.8	87	65.7	2,187 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・☒

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・☒② ①以外の会計方針の変更 : 有・☒③ 会計上の見積りの変更 : 有・☒④ 修正再表示 : 有・☒

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期中間期	40,000株	29年3月期	40,000株
30年3月期中間期	一株	29年3月期	一株
30年3月期中間期	40,000株	29年3月期	40,000株

※ 中間監査手続の実施状況に関する表示

この中間決算短信は、中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3 ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 中間財務諸表	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	8
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における日本国経済は、世界経済の回復を背景として、米国経済が堅調に推移したことや中国及び新興国経済が持ち直したことにより輸出が増加し、企業収益が改善するなど、景気は緩やかな回復基調をたどりました。観光業界においては、政府主導による訪日外国人観光客の誘致により需要が引き続き拡大しており、当社が主に事業を行う沖縄県においても、観光客数の増加が続いております。

そのような状況の中で当社は、継続したWEB戦略を中心とした販売力の強化と業務の効率化によるコスト削減を主要課題として取り組んで参りました。ホテル事業部門に関しては、本年3月に開業いたしました「ホテルWBF石垣島」「ホテルWBF福岡天神南」の2施設が順調に稼働しております。また既存施設においては客室単価の向上と稼働率の向上の両立に取り組み、また口コミによる知名度の向上などもあり、順調に成果を上げております。レンタカー部門に関しましては、継続した車両計画実行及び効率化により、微増ではありますが、対前期比売上増加となり、増益に大きく貢献しております。その他事業においても、瀬長島ウミカジテラスの知名度の向上により連日多くのお客様に来島頂き、増収となりました。

上記の結果、当中間会計期間の売上高は1,731,489千円（前年同期比34.7%増）となり、営業利益は231,298千円（前年同期比97.6%増）、経常利益192,664千円（前年同期比135.0%増）、中間純利益126,413千円（前年同期比134.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は866,129千円（前事業年度末は689,042千円）となり、177,086千円増加しました。現金及び預金200,551千円、売掛金62,800千円が増加し、その他流動資産100,065千円が減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は4,957,490千円（前事業年度末は3,909,498千円）となり、1,047,991千円増加しました。建築費用として建設仮勘定74,182千円、土地616,273千円、投資その他資産134,463千円、建物122,244千円が増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は1,677,862千円（前事業年度末は1,036,067千円）となり、641,795千円増加しました。短期借入金474,000千円、未払法人税等86,202千円、未払費用36,752千円、一年内返済予定の長期借入金43,214千円が増加し、買掛金23,120千円が減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は3,909,497千円（前事業年度末は3,452,628千円）となり、456,868千円増加しました。長期借入金373,142千円、リース債務53,396千円が増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は236,259千円（前事業年度末は109,845千円）となり、126,413千円増加しました。中間純利益が126,413千円発生したことが要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、515,712千円となりました。

当中間会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により得られた資金は491,794千円となりました。これは主に、税引前中間純利益192,664千円に、減価償却費263,404千円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動により使用した資金は1,030,482千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出907,458千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動により得られた資金は739,239千円となりました。これは主に、長期借入金による収入1,017,000千円、短期借入金の借入による収入690,000千円、長期借入金の返済による支出600,643千円、短期借入金の返済による支出216,000千円、リース債務返済による支出150,028千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表しました「平成29年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」から変更はありません。

なお、当中間会計期間の業績の一部が当期末業績予想を上回っておりますが、平成29年10月に開業いたしました「ホテルアクアチッタナハbyWBF」の稼働状況等諸般の要素を踏まえ、下期において業績予想修正の必要があると判断した時点で速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年 3 月31日)	当中間会計期間 (平成29年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	345,161	545,712
売掛金	169,830	232,631
商品	7,959	7,012
原材料及び貯蔵品	9,285	9,429
前払費用	25,914	30,256
繰延税金資産	3,641	13,864
その他	127,336	27,270
貸倒引当金	△86	△48
流動資産合計	689,042	866,129
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,415,973	3,629,956
減価償却累計額	△716,822	△808,561
建物（純額）	2,699,150	2,821,395
構築物	156,956	219,636
減価償却累計額	△75,662	△82,599
構築物（純額）	81,293	137,036
車両運搬具	—	3,340
減価償却累計額	—	△278
車両運搬具（純額）	—	3,061
工具器具及び備品	71,564	74,909
減価償却累計額	△34,722	△38,634
工具器具及び備品（純額）	36,841	36,275
土地	152,576	768,850
リース資産	934,820	1,122,196
減価償却累計額	△322,634	△471,180
リース資産（純額）	612,186	651,015
建設仮勘定	76,318	150,500
有形固定資産合計	3,658,366	4,568,134
無形固定資産		
ソフトウェア	38,170	42,124
その他	5,003	4,810
無形固定資産合計	43,174	46,934

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当中間会計期間 (平成29年9月30日)
投資その他の資産		
出資金	2,010	12,160
長期前払費用	21,763	22,041
繰延税金資産	4,184	14,599
その他	180,000	293,620
投資その他の資産合計	207,957	342,421
固定資産合計	3,909,498	4,957,490
資産合計	4,598,541	5,823,619

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当中間会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,858	32,737
短期借入金	216,000	690,000
一年内返済予定の長期借入金	247,448	290,663
リース債務	326,110	325,145
未払金	57,334	66,414
割賦未払金	—	3,265
未払費用	94,609	131,361
未払法人税等	943	87,145
未払消費税等	7,422	15,879
前受金	3,949	51
預り金	9,716	11,924
賞与引当金	8,655	16,259
その他	8,018	7,012
流動負債合計	1,036,067	1,677,862
固定負債		
長期借入金	2,978,779	3,351,921
リース債務	400,186	453,582
長期割賦未払金	—	18,506
退職給付引当金	8,362	10,586
その他	65,300	74,900
固定負債合計	3,452,628	3,909,497
負債合計	4,488,696	5,587,360

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当中間会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
特別償却準備金	63,620	60,156
繰越利益剰余金	26,224	156,102
利益剰余金合計	89,845	216,259
株主資本合計	109,845	236,259
純資産合計	109,845	236,259
負債純資産合計	4,598,541	5,823,619

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高		
ホテル事業売上高	824,719	1,193,533
レンタカー事業売上高	362,636	380,035
その他事業売上高	98,195	157,919
売上高合計	1,285,551	1,731,489
営業原価		
料飲原価	41,348	61,992
商品原価	45,031	51,905
役員報酬及び給与	214,999	284,561
賞与引当金繰入額	12,514	16,259
退職給付費用	1,894	2,223
その他の人件費	53,565	69,738
販売手数料	85,715	94,043
水道光熱費	64,732	90,783
減価償却費	224,295	263,404
賃借料	132,081	165,203
貸倒引当金繰入額	△656	△37
その他	292,975	400,110
営業原価合計	1,168,500	1,500,190
営業利益	117,050	231,298
営業外収益		
受取利息	5	1
その他	4,028	8,865
営業外収益合計	4,034	8,867
営業外費用		
支払利息	37,613	45,368
その他	1,493	2,133
営業外費用合計	39,106	47,501
経常利益	81,978	192,664
税引前中間純利益	81,978	192,664
法人税、住民税及び事業税	34,394	86,888
法人税等調整額	△6,410	△20,638
法人税等合計	27,984	66,250
中間純利益	53,993	126,413

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当中間会計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	81,978	192,664
減価償却費	224,295	263,404
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△656	△37
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,070	7,603
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,069	2,223
受取利息及び受取配当金	△5	△1
支払利息	37,613	45,368
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,883	△62,800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,423	802
未収消費税等の増減額 (△は増加)	27,119	—
その他流動資産の増減額 (△は増加)	7,944	46,094
仕入債務の増減額 (△は減少)	42	△23,120
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,766	13,802
その他流動負債の増減額 (△は減少)	16,378	43,043
その他	22,005	11,698
小計	369,314	540,745
利息及び配当金の受取額	5	1
利息の支払額	△41,544	△48,266
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払額)	11,102	△686
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,878	491,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168,292	△907,458
無形固定資産の取得による支出	△768	△9,285
その他	△17,057	△113,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,118	△1,030,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	744,000	690,000
短期借入金の返済による支出	△49,959	△216,000
長期借入金の借入による収入	762,300	1,017,000
長期借入金の返済による支出	△1,156,206	△600,643
リース債務の返済による支出	△126,988	△150,028
割賦債務の返済による支出	—	△1,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,145	739,239
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	325,905	200,551
現金及び現金同等物の期首残高	194,738	315,161
現金及び現金同等物の中間期末残高	520,643	515,712

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間会計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間財務諸 表計上額 (注) 3
	ホテル事業	レンタカー 事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	824,719	362,636	1,187,355	98,195	1,285,551	-	1,285,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,621	1,599	3,220	-	3,220	△3,220	-
合計	826,340	364,235	1,190,576	98,195	1,288,772	△3,220	1,285,551
セグメント利益又は セグメント損失(△)	189,163	38,593	227,757	△49,558	178,198	△61,148	117,050
セグメント資産	2,237,403	551,784	2,789,188	769,484	3,558,672	738,180	4,296,852
その他の項目							
減価償却費	81,242	114,084	195,326	28,969	224,295	-	224,295
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,248	199,951	201,199	167,417	368,617	-	368,617

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、瀬長島ウミカジテラスを含む賃料収入、売店等における商品販売、ホテル外飲食店の飲食物の提供及びその他の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△61,148千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間会計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間財務諸 表計上額 (注) 3
	ホテル事業	レンタカー 事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	1,193,533	380,035	1,573,569	157,919	1,731,489	-	1,731,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,781	1,037	5,819	9,077	14,896	△14,896	-
合計	1,198,315	381,073	1,579,388	166,997	1,746,386	△14,896	1,731,489
セグメント利益又は セグメント損失（△）	326,981	42,655	369,637	△24,360	345,277	△113,978	231,298
セグメント資産	2,996,435	616,531	3,612,966	1,135,267	4,748,234	1,075,385	5,823,619
その他の項目							
減価償却費	90,976	131,481	222,458	40,946	263,404	-	263,404
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	153,693	31,896	185,590	998,313	1,183,904	-	1,183,904

（注） 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、瀬長島ウミカジテラスを含む賃料収入、売店等における商品販売、ホテル外飲食店の飲食物の提供及びその他の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△113,978千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。